

第8期決算公告

平成28年5月27日

東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスター

バリオセキュア株式会社

代表取締役 稲見 吉彦

貸借対照表

(平成28年2月29日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,681,559	流 動 負 債	354,140
現金及び預金	1,091,177	買掛金	60,647
売掛金	356,326	未払金	25,816
貯蔵品	153,274	未払費用	8,509
前渡金	33,673	未払法人税等	183,382
前払費用	16,868	預り金	1,723
繰延税金資産	28,226	賞与引当金	36,979
その他	2,261	未払消費税等	27,923
貸倒引当金	△ 249	その他	9,157
固 定 資 産	2,986,257		
有形固定資産	28,143		
建物附属設備	343		
工具器具備品	27,800	負 債 合 計	354,140
無形固定資産	2,954,726		
ソフトウェア	1,849	純 資 産 の 部	
のれん	2,952,877	株 主 資 本	4,313,676
投資その他の資産	3,387	資本金	310,000
差入保証金	376	資本剰余金	2,995,876
破産更生債権等	2,171	資本準備金	100,000
繰延税金資産	2,815	その他資本剰余金	2,895,876
その他	195	利益剰余金	1,007,799
貸倒引当金	△ 2,171	利益準備金	14,982
		その他利益剰余金	992,817
		繰越利益剰余金	992,817
		純 資 産 合 計	4,313,676
資 産 合 計	4,667,817	負 債 純 資 産 合 計	4,667,817

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品

移動平均法に基づく原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。

建物附属設備 工具器具備品

② 無形固定資産

ソフトウェア（自社利用）は、定額法（5年）により償却しております。

また、のれんについては、投資効果の発現する期間を見積り、当該期間において均等償却を行っております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、翌事業年度支給見込額のうち当事業年度の負担に属する部分を計上しております。

(4) その他の計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。